認定書

国住参建第 4504 号 令和 5 年 3 月 16 日

フネンアクロス株式会社 代表取締役 深堀 光二 様



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の25第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法施行令第129条の2の4第1項第七号ハ(防火区画貫通部1時間遮炎性能)の規定に適合するものであることを認める。

記

- 1. 認定番号
 - PS060FL-1235
- 2. 認定をした構造方法等の名称 給水管・排水管・繊維混入セメントモルタル被覆合成樹脂管/セメントモル タル充てん/床耐火構造/貫通部分(中空床を除く)
- 3. 認定をした構造方法等の内容 別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名:

給水管・排水管・繊維混入セメントモルタル被覆合成樹脂管/セメントモルタル充てん/床耐火構造/貫通部分(中空床を除く)

2. 寸法等の仕様:

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

-Æ D	-	71 132
項 目		仕様
開口部	形状	円形(φ209mm以下)
用口印	面積	0.0343m ² 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の	D総合計の割合)	70. 2%以下
貫通する床の構造等	等	鉄筋コンクリート 厚さ 100mm以上

3. 主構成材料の仕様:

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様	
	材料	セメントモルタル	
充てん材	組成	普通ポルトランドセメント	25 (±5)
元(ん物	(質量%)	細骨材(砂)	$75(\pm 5)$
	充てん量	隙間に密に充てん(床厚方向100mm以上)	

表 3 配管の仕様

項目 仕様			·		
			材料	繊維混入セメントモルタル	
		1		①又は②	
				①普通ポルトランドセメント 45(±5)	
				無機質骨材・無機質混和材 50(±6)	
			組成 (質量%)	有機質繊維 5(±1)	
				ただし、	
				無機質骨材: 非公開	
				無機質混和材: " 無機質混和材: "	
	!			無 恢复終准:	
		外管		②普通ポルトランドセメント 75(±7)	
松				無機質混和材・軽量骨材 21(±6)	
手				有機質繊維 4(±1)	
及				ただし、	
給				無機質混和材:非公開	
継手及び給水管				無機質軽量骨材: " 有機質繊維: "	
			 密度	有機負款群: " 1. 4(±0. 2) g/cm ³	
排	継手		寸法	外径 呼び径 125 以下〔近似外径 φ 175mm 以下〕	
排水管(以下配管という)	7			厚さ 6~13mm	
씾			材料	0~ 3 <i>n</i> −	
配				①硬質ポリ塩化ビニル管製	
管レ				②耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管製	
Ϋ́		内管		③耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管製	
2			寸法	外径 呼び径 125 以下〔近似外径 φ 150.5mm 以下〕	
				厚さ 2.7~5.4mm	
		空間形成材	材料	仕様:あり又はなし	
				①~④の一、又は組み合わせ	
				非公開	
			寸法		
				非公開	
L				4)	

つづく

つづく

~~	材料 繊維混入セメントモルタル					
			材料		(メントセルダル	
				①又は②		
					パルトランドセメント 45(±5)	
					ででは、10mm では、10mm では、	
				有機質	·	
				ただし	· ·	
			組成 (質量%)		门村: 非公開	
		外管		無機質	f混和材: "	
					f繊維:	
				②普通オ	パルトランドセメント 75(±7)	
					『混和材・軽量骨材 21(±6)	
				有機質	T 繊維 4(±1)	
]		ただし		
				無機質	「混和材: 非公開	
				無機質	「軽量骨材: "	
				有機質	ゴ繊維:	
継			密度	1.4(±0.2)	g/cm ³	
手			寸法	外径	呼び径 125 以下 [近似外径 φ 175mm 以下]	
及 び				厚さ	6∼13mm	
給			材料	①~③の-		
一形				①硬質ポリ塩化ビニル管製		
•	第二	内管		②耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管製		
弾	閉塞機能継手				性硬質ポリ塩化ビニル管製	
管	能継		寸法	外径	呼び径 125 以下 [近似外径 φ 150.5mm 以下]	
冥	手			 	2.7~5.4mm	
継手及び給水管・排水管(以下配管という)			材料	仕様:あり		
管		空間形成材		①~④の-	-、又は組み合わせ	
²						
2				非公開		
			寸法			
				非公開		
				表も見せる時には、中	ANY A HAREN	
			材料	素切形 張 性 共	最鉛混入樹脂シート	
		郑 바지크로 1~1	組成	크는 // 88	i	
		熱膨張材	(質量%)	非公開		
			-1-51-	- H: /\ 88		
			寸法	非公開		
		固定テープ	材料	非公開		
			_LNL	非公開		
			寸法		h	
			使用箇所	空間形成材	t、熱膨張材を固定	

つづく

50	<u> </u>		 	·
			材料	①~③の—
]		①硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6741、JIS K 6742)(VP、HIVP)
			,,,,	②リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(JIS K 9798)(RF-VP)
	接続	接続管		③耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6776)(HT)
			寸法	外径 呼び径125以下〔外径φ140㎜以下〕
		ļ	774	厚さ 7.5mm以下
			使用箇所	継手と閉塞機能継手の接続用
			材料	繊維混入セメントモルタル
			形状	円筒(一般部)
				ただし、必要に応じて単管連結筒を用いても良い
				普通ポルトランドセメント 75(±7)
				無機質混和材・軽量骨材 21(±6)
			4- 40	有機質繊維 4(±1)
		A1 A5A-	組成	ただし、
		外管	(質量%)	無機質混和材: 非公開
				無機質軽量骨材: "
				有機質繊維: "
			密度	$1.4(\pm 0.2)\mathrm{g/cm^3}$
				μω 呼び径 125 以下〔近似外径 φ156mm 以下〕
			寸法	外径
			,	厚さ 近似厚さ7.0㎜以下
	立		材料	仕様:あり又はなし
配管	立て管	表面処理材		アクリル樹脂系
I B	P		質量	90g/m²以下
			材料	⊕~®n−
				①硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6741、JIS K 6742)(VP、HIVP)
				②リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(JIS K 9798)(RF-VP)
		内管		③耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6776)(HT)
			寸法	外径 呼び径 125 以下 [外径 φ 140 mm以下]
				厚さ 7.5 mm以下
		空間形成材	材料	仕様:あり又はなし
				①、②又は組み合わせ
				非公開
			厚さ	材料①:2mm以下
				材料②:3mm以下
		†	 形状	リング又はシート
			/ V V	①~④の一、又は組合せ
				①耐火二層管(外管及び内管:立て管と同じ)
			材料	②硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742) (VP、HIVP)
			163 474	③リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(JIS K 9798)(RF-VP)
	横枝管			④ 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6776) (HT)
		ł		### 材料①: 呼び径100以下〔近似外径 ø 129mm以下〕
			寸法	外径 材料②~④: 呼び径100以下〔处成が径 6 125mm以下〕 材料②~④: 呼び径100以下〔外径 6 114mm以下〕
				·
				厚さ 7.1mm以下

4. 副構成材料の仕様:

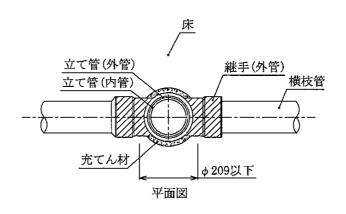
副構成材料の仕様を表4に示す。

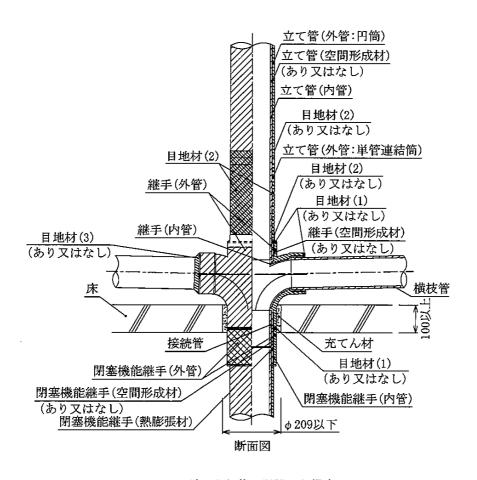
表 4 副構成材料の仕様

項目			衣 4 副構成材料の仕様 仕 様
		材料	熱膨張性黒鉛混入樹脂シート ①、②又は組み合せ
	(1)	組成 (質量%)	材料① 非公開 材料② 非公開
	:	厚さ	非公開
		使用箇所	継手外管の目地用
目地材(あり又はなし)	(2)	材料	片面アルミニウムはく張ガラスクロス付ポリアクリロニトリル繊維フェルト (粘着剤付) 構成:①~④の積層 非公開
		寸法	非公開
		使用箇所	1)継手、立て管、横枝管の各部接続部(あり又はなし) 2)単管連結筒の外装用(あり)
		材料	シリコーン系シーリング材(JIS A 5758)
	(3)	使用量	43g/m以下
		使用箇所	継手と直管の接続部

5. 構造説明図: 構造説明図を図1~図3示す。

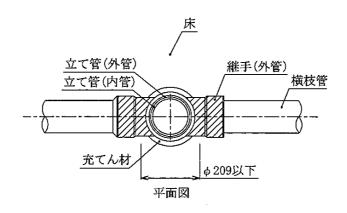
単位 mm

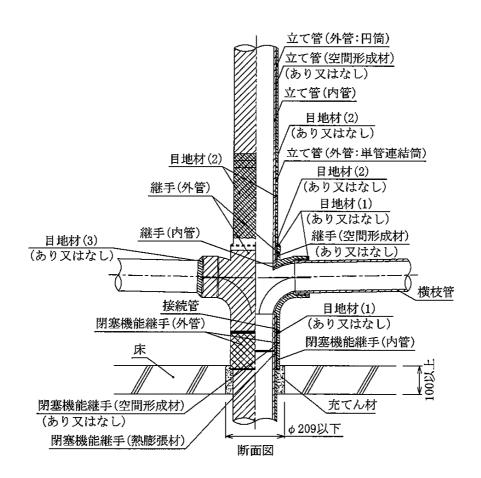




継手を躯体に埋設した場合

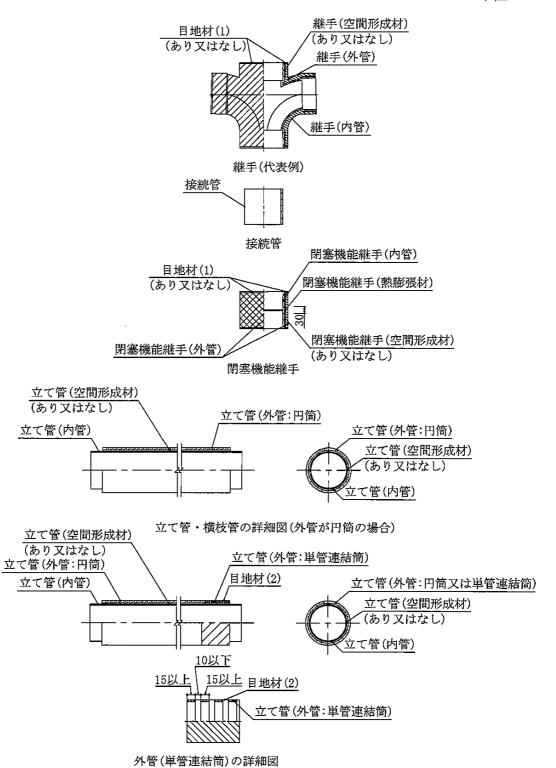
図1 構造説明図(施工図)





継手を躯体に埋設しない場合

図2 構造説明図(施工図)



立て管・横枝管の詳細図(外管が円筒・単管連結筒の場合)

図3 構造説明図

6. 施工方法:

施工は以下の手順で行う。

- (1) 開口面積、占積率の確認配管図に基づき配管の設置状況及びサイズを調べ、開口面積・占積率を確認する。
- (2) 閉塞機能継手の仕様

閉塞機能継手の上部には必ず継手を接続し、床スラブに必ず閉塞機能継手が15mm以上埋設するように配管する。立て管が上階への接続が無い場合は、横枝管と同様とし器具に接続する。

- (3) 施工注意事項 外管の軽妙なヒビ又はキズ等の補修は目地材等にて補修する。
- (4) 単管連結筒は貫通部に使用しない。
- (5) 配管支持配管の支持は、定められた支持施工方法に準じて行う。
- (6) 貫通部の埋戻しの確認配管と防火区画の床の開口部を、充てん材で隙間を生じないよう密に充てんする。